

意見概要及び事務局対応案

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす、環境健康都市
政策⑤ 地域資源を活かすまち

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
				対応案	理由	
全体	1	素案には複数箇所にもたがる項目があり、その項目の説明を他で行っているときには、項目の参照ページの記載を入れることで、わかりやすい形になると思う。	—	①	具体的な方法については今後対応を検討します。	
8年後の姿	1	イラストのほうがアピールするにはいいと思うが、全部の内容を入れようとするとうっかりづらいのでないか。 またイラストは、萬代橋をもっと明確にして、ウォーターシャトルを描くなど背景を工夫することで、地域資源がわかりやすくなるのではないか。	—	①	わかりやすくなるように配慮します。 また、地域資源については、他のイラストとのバランスを見ながら対応を検討します。	
	2	政策⑤で対象となる「地域資源」は、農的、環境的なものなどに限定されていると思うので、「地域環境資源を活かすまち」としたらどうか。	84	①	ご意見の方向で対応を検討します。	87
	3	食と健康にまつわるような情報発信が、超高齢化に向かうにあたり大事なことだと思う。	84	②	施策14「食と農を通じた地域づくり」には、地産地消による安全な食を通じて健康な生活につなげると記載しており、方向性は合致しています。	
	4	イラストににぎわいを示す商店街のような庶民的な要素があってもいいのではないか。	84	③	政策⑥「人と環境にやさしいにぎわうまち」のイラストをご覧ください。うえで検討します。	
現状と課題	1	新潟市の魅力を「食」とただひとくりに書くのではなく、食の中でも具体名をあげること、食の特色が見えてくる。その上で発信していくべきと思う。	84	①	アンケート結果の他に、具体的な食の特色として、米や酒、黒埼茶豆、ルレクチエなど本市が誇る「食と花の銘産品」があることをつけ加えます。具体的な発信方法については実施計画・分野別計画のなかで検討します。	87
	2	食をうたうときに食文化が重要であり、新潟独特の「食」をどう活かしていくのかをもう少し盛り込むべきではないか。	84	②	食を通じて交流人口の拡大、産業の振興を図っていくことについては、施策29「食と花の魅力の向上」の中で、「国内外へのアピールを強化し、交流人口の拡大や農水産業など、食と花を取り巻くさまざまな産業の振興につなげて」いくと記載しております。具体策としては実施計画・分野別計画などで検討します。	
	3	「本市の魅力の現状」というアンケート調査は、母数が非常に少なく、これをもって施策の検討をしてよいのか。	85	①	アンケート結果の他に、市政世論調査の結果を加え、市内外からの認識が一致しているとの表現に修正します。	89
	4	本市の魅力である「食」をさらに伸ばしていくためには、農業の跡継ぎが必要であるが、いなくなると「食」の生産に影響があるのではないか。	84	①	ご指摘いただいた点については、都市像Ⅲ「日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市」の施策23「ニューフードバレーの推進」の中に、考え方として包含されておりますが、わかりやすい表現とするため追加記載します。	※
	5	「現状と課題」の若年無業者やひきこもりが増加して、農業体験などが自立に向けた第一歩になることと、施策とのつながりがよく見えない。	84	①	「現状と課題」と施策14「食と農を通じた地域づくり」のつながりが分かりやすくなるよう、表現を修正します。	87
	6	「現状と課題」に記載された「水と土」の表記について、水と土の戦いなど、その歴史について触れることで、この施策の意味が深まるのではないか。 また、「水と土」を説明するに当たり、「信濃川」などの新潟をイメージするような具体的な言葉があると、よりわかりやすさにつながるのではないか。	84	②	信濃川をはじめとした水と土の歴史については、27～28ページの新潟市のあゆみや54ページの新潟市の現状に記載していることから重複をさけるため、素案のとおりとします。 参照ページなどの記載については、上記「全体 1」で対応します。	
	7	環境健康都市という都市像の「現状と課題」の中に、阿賀野川の新潟水俣病について触れなくていいのか。	84	②	29ページの市の年表にて記載しています。政策①「ずっと安心して暮らせるまち」の「8年後の姿」にある「安心して暮らしていく」には、新潟水俣病の発生といった残念な過去を踏まえ、「8年後の姿」を目指していく意味を含めています。	
施策	1	市長発言の中であった「10次産業」という言葉については、新潟の特徴的な言葉になると考えられるので、市民により分かりやすくするため、施策に記載したらどうか。	86	①	「10次産業」については、施策14「食と農を通じた地域づくり」の2つ目のクロボチに加えられます。	90
	2	施策16「地域の個性、歴史、文化に根ざしたまちづくり」を進めることで定住人口の増加につながることに、イメージしにくいことから、分かりやすい表現に修正してはどうか。	86	①	交流人口拡大を図り、定住人口の増加につなげていくことが、イメージできるようにわかりやすい表現に修正します。	90
その他	1	少子化により学校がなくなると人口減少が進行し、まちづくりの計画を立てても何にもならない。その対策について具体的に記載してほしい。また、学校の統合の話が先へ進んでいるようだが、小中一体化というのは考えられないのか。	—	③	都市像Ⅰの政策③「学・社・民の融合による教育を推進するまち」に関する事項であることから、第3部会が出た意見として、第2部会に伝えさせていただきます。	

第4部会にて対応

意見概要及び事務局対応案

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす、環境健康都市
政策⑥ 人と環境にやさしいにぎわうまち

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
				対応案	理由	
8年後の姿 (イラスト)	1	イラストを見てわかりにくい箇所は、市民にわかりやすくするため、コメントや説明が必要ではないか。	—	①	他のイラストとのバランスをみながら、対応を検討します。	
現状と課題	1	湊町文化が新潟市の顔とイメージできない市民が多いと感じるので、もう少し全市的に共有できるようにすべきではないか。	87	②	ご指摘の点については、課題であるとの認識から「現状と課題」に記載しました。そのうえで施策17「まちなか再生・都心軸の明確化」により、「湊町文化」が新潟市の顔となるよう全市的な共有を目指します。具体策は実施計画・分野別計画で検討します。	
	2	図⑥-1からは「現状と課題」へのインパクトが小さいのではないかと。また、図⑥-1の見方がわかりづらいので、注書きを入れてはどうか。	87	①	図⑥-1は住民票の移動事由を基にしたものです。就学の際には住民票の届出を出さない方も多いため、数値が小さくなっていると考えられますが、流出という大きな傾向を示したものです。さらにお示しできる図表がないか検討します。また、図⑥-1については、わかりやすくなるよう修正をします。	91 92
	3	高校生が進学先を選ぶ基準、大学・専門学校生が就職先を選ぶ基準を調査していれば、新潟市が抱えている若者たちに対する課題が見えてくるのではないかと。	87	③	これまで、大学生、専門学校生の方々にもご参加いただいてワークショップを開催し、ご意見をいただけてきましたが、今後、具体的な取り組みを進める際には大学生や専門学校生の方々との意見交換を行うなど、効果が大きくなる手法を検討させていただきます。	
	4	公共交通の利用減少についてバスのデータがあるが、鉄道も利用が減少しており、車でなければ移動できないまちになってしまっていることから、鉄道のデータも載せることが必要ではないかと。	88	①	都市像Ⅰ「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」の図①-2において、バスの利用データの他に、鉄道や自動車等も含めた新潟市民の交通手段の実態を把握したデータを66ページにお示ししております。参照ページを入れるなどわかりやすさに配慮します。	93
施策17	1	「花街など湊町文化」とあるが、湊町文化の一環として花街が栄えたとしても、湊町文化はもっと奥深いものだと思うので、表現を修正すべきではないかと。	91	①	ご指摘の趣旨を踏まえ、湊町文化が単に花街との認識にならない様に表現を検討し、修正いたします。	95
	2	「都心軸リノベーションの実現」について、具体的に表現してもらおうとわかりやすくなるのではないかと。	91	①	再開発によるビルなどの施設の更新を駅前、万代、古町と連動させる取り組みや、「みなとまち」の歴史や文化を活かしたまちなみの保全を目指すもので、わかりやすさの向上へ表現の工夫や注釈を入れることを検討します。	95
施策19	1	郊外では、鉄道とバスの連絡が悪く、そのことで原因で自家用車を使うケースが多く見られる。公共交通体系の構築にあたり、バスの新設だけでなく既存の鉄道とバスの組み合わせも重要になってくると思うが、既存の公共交通、鉄道に関する記述も必要ではないかと。	91	①	これまで超高齢社会を見据え、過度にマイカーに依存しなくても誰もが移動しやすいバスや鉄道など総合的な交通環境の実現に向けた取り組みを進めてきました。今後も施策19及び政策①の施策3により取り組みを強化していく方針を記載していることから鉄道に関する記述を追加します。具体策については分野別計画や実施計画で記載していきます。	95
	2	抜本的に交通網を見直さないと、高齢者は暮らせないまちになってしまうと思う。10年後、20年後には車の運転ができなくなることも踏まえて、市民の足をどう確保していくかを施策で明確にするべきではないかと。	91			

☆

意見概要及び事務局対応案

都市像Ⅱ 田園と都市が織りなす、環境健康都市
政策⑦ 誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
				対応案	理由	
8年後の姿 (イラスト)	1	イラストを見ると職業が固定化されているイメージなので、例えば本市の特色である農業を活かして、障がいのある人、ひきこもりの人が生産から製品化、販売に関わるストーリーのように描いたらどうか。	93	①	他のイラストとのバランスをみながら、対応を検討します。	
8年後の姿	2	「ひきこもりなどの生活困難を抱える人が、さまざまな産業、農業など、自分にふさわしい働き方ができる」の中の「さまざまな産業、農業など」としているが、障がい者、若年無業者と農業がマッチングしやすいことは、農業が盛んな新潟市としてアドバンテージを持っていることになるので、そういった市の強みを書きこんだ方がよいのではないかと。	93	①	市の特色を表わすため、「8年後の姿」の「さまざまな産業、農業など」を「農業など本市の特性を活かしたさまざまな産業」などの表現に修正します。	97
現状と課題	1	「本市の女性就業率は政令市の中で最も高く、女性が働きやすい環境が整っている」と書いているが、「最も高くなっている」という書き方でいいのではないかと。	94	①	ご意見のとおり、修正いたします。	98
	2	現在の新潟は、障がい者の雇用が1.65%と低値にあるため、障がいを抱えていても暮らしやすく、誰もが心身ともに健やかな暮らしを営めるように、社会全体でサポートしていく体制や雰囲気づくりに努めることが障がい者の働きやすい環境づくりにつながるのではないかと。	94	②	障がい者の雇用率を上げるうえでも、安心した暮らしの実現は重要と考えており、都市像Ⅰの政策①の施策2「障がいのある人が自立した生活を送れるための支援」により進めていきます。	
施策21	1	8年後の姿で「ワーク・ライフ・バランス」について触れているが、施策21ではどのように生かしていくのかが見えづらい。	97	②	「自身が望む働き方をして自己実現を果たす」うえで、ワーク・ライフ・バランスは重要な要素です。それぞれの施策で目指す「ふさわしい働き方」ができる前提として、ワーク・ライフ・バランスの考え方を踏まえているものと考えております。具体的な取り組みについては、実施計画や分野別計画で検討します。	
	2	女性特有の問題と若者の問題は切り口が違うと思うので、クロボチを分けて書いた方が伝わりやすいのではないかと。	97	①	わかりやすさを向上させるため、クロボチをわけて、「・女性が自身の望む働き方をして自己実現を果たすことは社会の活力維持につながることから、一人ひとりが安心して働き、意欲や能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。」 「・若者が働くことを通して社会的に自立して、自信をもって夢や目標に向かって動き出せるよう環境づくりを進めます。」 などとすることで対応します。	101
施策22	1	障がいのある人とひきこもりの人の問題も、切り口が違うと思うので、クロボチを分けて書いた方がわかりやすいのではないかと。	97	①	わかりやすさを向上させるため、クロボチをわけて、「・障がいのある人が誇りをもって自立した生活をおくることができるよう、就労やその後の定着への支援を図っていきます。」 「・ひきこもりなどの生活に困難を抱えた人が、自然、田園など本市の特性を活かした農業体験などを通じて、自己実現を果たし、社会の活力維持につながる環境づくりを進めます。」 などとすることで対応します。	101
	2	政策が「誰もがそれぞれに」と書いてあるのに、施策では、女性、若者、障がい者と特定されているので、書きぶりを工夫した方がよいのではないかと。	97	②	雇用の場の確保に関し、政策⑨「雇用が生まれ活力があふれる拠点」と連動を図りながら、政策⑦にて、女性、若者、障がいのある人、ひきこもりの人などが、自身にふさわしい働き方ができるように市の政策として焦点をあてることで、「誰もがそれぞれに」と記載しております。	
	3	生きづらさを抱えた若者が、仕事を継続していくには、自分に合った職業を選択できるという土壌が必要不可欠と考える。障がい者も将来を前向きに見据えることができる思考を育てるためには、特別支援教育の充実や多方面にわたった就労体験の機会を設けることが大切であると考えているがどうか。	97	②	障がいのある人が自立した生活をおくれるようにするため、これまで障がい者就業支援センターの開設、障がい者職場実習支援事業を実施するなど雇用拡大に努めてきました。ご指摘の点については、今後も施策22により進めていきます。具体策としては実施計画・分野別計画などで検討します。	
施策	1	働くという意味を経済的な観点だけでなく、社会的に活躍するという意味を含めるとすれば、現実的には増え続ける元気な高齢者の活用も施策に入れるべきではないかと。	97	②	自己実現を図るうえでご指摘の観点は重要であり、元気な高齢者について、政策①の施策1の中で「元気な高齢者に地域づくりの担い手として活躍していただくなど、高齢者の社会参加を促進し」と記載しております。具体策としては実施計画・分野別計画などで検討します。	

☆

意見概要及び事務局対応案

【対応案】 ①素案を修正する。
 ②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
 ③その他(検討等)

資料3

区ビジョン基本方針

項目	番号	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
				対応案	理由	
区の概要	1	いくつかの区で概要の産業欄の表現が「稲作」と「水稻」で分かれているので統一すべきではないか。	—	①	「稲作」に統一する方向で検討します。	☆
	2	区の概要欄で概要と図表の対応関係のわかりにくいものがあるので、見直したほうがよいのではないか。	—	①	図表は区の特徴をわかりやすく伝えるために表したのですが、説明を入れるなど概要との関連性やわかりやすさが向上するよう見直しを行います。	☆

基本構想

2 まちづくりの理念

3 目指す都市像

項目	番号	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
				対応案	理由	
都市像Ⅰ	1	都市像Ⅰの共助、協働という言葉がわかりにくい。	7	①	ご指摘の用語も含めて専門的な用語は、全体として注釈を入れるなどわかりやすくなるよう検討します。	7 ☆
都市像Ⅲ	1	「目指す都市像」の都市像Ⅲで、本市の個性と拠点性が活かされることで、今後振興・発展が見込まれる産業について、より詳しく記載してはどうか。	8	①	8年後の姿として、「既存産業の高度化やさまざまな魅力的な産業の創出が図られ」などの表現に修正します。	8

意見概要及び事務局対応案

基本構想

2 まちづくりの理念

3 目指す都市像

他の部会で審議された意見についても掲載

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	部会	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
					対応案	理由	
基本構想 全体	1	1	まちづくりの理念と都市像のつながりをわかりやすく記載する必要があるのではないか。	5 6 7 8			5 6 7 8
策定趣旨	1	1	策定趣旨には都市像を実現するにあたっての課題が書かれているが、人口減少や災害といった全国共通の課題だけでなく、新潟市が単独で持っている課題について追加して記載する必要があるのではないか。	5			5
まちづくり の理念	1	1	まちづくりの理念の2段落目の記載内容がわかりにくいのではないか。 また、まちづくりの理念の説明が3段落あるが、1段落目と2段落目の順番を入れ替えて記載することでわかりやすくなるのではないか。	6			6
	2	2	市民一人ひとりの個性や多様な生き方を認め合う人権尊重の考え方からすると、「81万市民の総力を結集し」はそぐわないため、「81万市民がそれぞれの立場で、市民力・地域力と」としてはどうか。				
	3	2	「将来の世代に引き継いでいかなければなりません。」の後ろに「新潟市に生まれ、育ち、学び、働き、活動する市民一人ひとりが、住んでよかった、ずっと住み続けたいと思える「暮らし」を実現します。全ての市民の人権が尊重される暮らしを実現するためには、男女共同参画を進め、一人ひとりの個性と能力を引き出していく必要があります。」と追加記載してはどうか。	6			6
	4	2	「さらに学び続ける市民が男女共同参画で新しい力を」と追加記載してはどうか。				
都市像 I	1	1	「将来を担う子どもたちを取り巻く環境では」という記載があるが、その後の視点が「子どもの視点」ではなく、「大人の視点」となっており、しかも「子どもと取り巻く環境」ではなく「子育てしやすい環境」についての記載になっているので、記載内容を整理した方がよいのではないか。	7			7
	2	2	都市像 I 「若者が結婚して、地域に住まい、希望する人数の子どもを安心して」を「若者が地域に住み、働き、子どもを安心して」と変更してはどうか。	7			7
	3	2	「都市像 I 市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を「都市像 I 市民が男女共同で学び高め合う、安心協働都市」と変更してはどうか。				
	4	2	都市像 I 「地域の住民がお互いに助け合い、男女共同参画がすすみ、市民一人ひとりが住み慣れた地域で」と追加記載してはどうか。	7			7
	5	2	都市像 I 「学・社・民の融合による教育の推進とともに」を「学・社・民の融合による男女平等教育や人権教育を推進とともに」と変更してはどうか。				
	6	2	都市像 I 「子どもから高齢者まで共に生涯楽しく元気に暮らすまち」を「子どもから高齢者まで多様な生き方が認められるまち」と変更してはどうか。				
	7	3	都市像 I の共助、協働という言葉がわかりにくい。	7	①	ご指摘の用語も含めて専門的な用語は、全体として注釈を入れるなどわかりやすくなるよう検討します。	7

☆

意見概要及び事務局対応案

基本構想

2 まちづくりの理念

3 目指す都市像

他の部会で審議された意見についても掲載

【対応案】①素案を修正する。
②素案のとおりとする。(実施計画・分野別計画などでの対応を含む)
③その他(検討等)

資料3

項目	番号	部会	意見概要	素案 ページ	事務局対応案		「資料2」 ページ
					対応案	理由	
都市像 I	8	4	教育・学ぶことは、義務教育期間のみではなく生涯通じて学んでいくことから、都市像 I の文中の「学・社・民」という表記については、義務教育期間を限定したイメージに伝わってしまうため、表現について検討してはどうか。	7			7
都市像 III	1	3	「目指す都市像」の都市像 III で、本市の個性と拠点性が活かされることで、今後振興・発展が見込まれる産業について、より詳しく記載してはどうか。	8	①	8年後の姿として、「既存産業の高度化やさまざまな魅力的な産業の創出が図られ」などの表現に修正します。	8
	2	4	都市像 III の文中の「本市が誇る農業や食をはじめとする個性と拠点性が活かされ、魅力的な産業が生まれ」という表記については、農業と食に関する産業だけが生まれるように伝わってしまうため、表現について検討してはどうか。	8			8